



国際ロータリー第2530地区 2014-15年度

福島ロータリークラブ會報

第17号

例会日/2014年11月6日(木) 開会点鐘/12:30
会場/ホテル[辰巳屋]8F

和の心で
日々燭を掲げよう

Rotary



本日の
プログラム

野崎潔ガバナー公式訪問例会

・9:30～ 会長幹事会 ・10:30～ 協議会

<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日12:30

【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

例会次第

開会点鐘 丹治正博 会長
国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 渡邊又夫 会員
「四つのテスト」唱和 菅野 晋 会員
お客さま並びに来訪ロータリアン紹介
11月誕生祝い

RI第2530地区米山記念奨学生
選考面接官任命 委嘱状の交付

会長挨拶 丹治正博 会長

食 事

幹事報告 坪井大雄 幹事

各委員会報告

●プログラム・ニコニコBOX小委員会

ニコニコBOX担当 相良元章 委員

◎本日のプログラム

閉会点鐘 丹治正博 会長



例会プログラムのご案内

- 11月20日(木) 理事会承認休会(2回目)
- 11月27日(木) 12:30～「辰巳屋」
・「ロータリー財団月間にちなんで」スピーチ 安藤健次郎 R財団委員長
・新会員スピーチ 江刺家宏樹 会員

野崎ガバナーのプロフィールにつきましては、当クラブの年次計画書などで皆さま

こよなくロータリー好きなガバナー

今日は、本年度当クラブの最も重要な行事でありますガバナー公式訪問の日を迎えました。野崎 潔ガバナーのご来訪を福島 RC一同心より歓迎申し上げます。先ほどは会長・幹事会において、クラブの現況につき概況のご説明を申し上げ、続くクラブ協議会におきましては、各委員会よりご説明の後、ガバナー自ら懇切にご指導、ご助言を賜りましたことに対し、あらためて感謝を申し上げます。

野崎ガバナーの公式訪問を歓迎して

ごあいさつ
二〇一四―一五年度会長 丹治 正博

んよくご存知のことと思いますので、人となりの一端についてご紹介をさせて頂きます。『ロータリーの友七月号』のガバナー紹介を「記憶の方も多いと思いますが、所属されている福島北 RCの小林忠道さんが次のように紹介されておられます。」
―野崎ガバナーの人物を一言で表すとすれば躊躇無く「真面目でこよなくロータリーを好きな人」と答えるでしょう。所属される福島北 RCは昨年創立五十周年を迎えましたが、その中で会員歴四十八年の最古参の会員で、しかもその四十八年間、出席率100%を続けており、更にロータリーの定款・細則などにも精通されるとともに、加えてポール・ハリスや米山梅吉翁などの先人の事跡にも詳しいという、いわばロータリーの申し子のような人と評されています。

野崎ガバナーは、ゲイリー・CK・ホアン RI会長の掲げる「ロータリーに輝きを」のテーマのもと、今年度の地区目標として「ロータリーの心を大切にクラブを活性化させよう!」を掲げておられます。こよなくロータリーを愛され、感謝の気持ちを忘れない、慈愛の心に満ちた野崎ガバナーに相応しいテーマであり、必ずや地区目標を達成されるものと確信いたしております。本日は後ほど野崎ガバナーよりご講話を拝聴致すことになっております。会員一同、ガバナーのお話を通じて、新たなロータリーの魅力に触れさせて頂く事を楽しみに致しております。

承りますれば、地区内六十六クラブの公式訪問のうち、すでに五分の四の五十二クラブ訪問を済ませ、当クラブは五十三番目の訪問とこのことでございます。最終の福島北クラブ訪問の十二月十六日まで残すところ十三クラブとなりました。長丁場で心身共に疲れのことも存じますが、どうぞくれぐれもお身体にご留意の上、地区内全クラブの公式訪問を完遂されますことをお祈り申し上げ、歓迎のご挨拶にかえさせて頂きます。

* * *

国旗掲揚の仕方を改めました

本日より会場正面の国旗を本来の掲揚の形、横吊りに掲揚いたすこととなりました。ロータリークラブでは長年にわたり、国旗をクラブ旗に合わせた縦吊りでの掲揚することが慣例化していましたが、国旗の掲揚については、平成十一年に「国旗及び国歌に関する法律」が制定されており、縦吊りでの掲揚は一般常識からみても不自然なことから、このたび本来の形とする事と致しました。

野崎 潔ガバナー公式訪問スピーチ



※写真は会長幹事会、協議会時のものです。

一番初め日本にロータリーを作られた方は米山梅吉さんであります。その前に日本人として初めてのロータリアンと言われている福島喜三次さん、この方と米山梅吉さんとの出会いがなければ日本のロータリーの誕生はもっと遅れたらうと言われております。

この福島さんは、アメリカのダラスのロータリアンだった訳ですが、そのダラスという所は非常に人種差別が激しい所でした。そこに黄色人種であります日本人がなぜロータリアンになり得たのかという事について若干述べさせて頂きたいと思ます。

福島さんは、明治14年(1881)10月10日に佐賀県有田町に生まれました。実家は元々紺屋でした。小学校は有田小学校(当時白川小学校)に入学し、終始級長で通されました。その後長崎商業学校に入り、そこでも3年間主席でした。それから東京高商(今の一ツ橋大学)にストレートで入られました。当時長崎から国立一ツ橋大学にストレートで入ったのは初めてでした。その後長崎商業学校が非常に有名になり、近郊から同校に入学する人が非常に増えたと言われてます。

一ツ橋大学を卒業されたのが明治37年で勿論主席で卒業されました。卒業後、三井物産に入社し門司支店に配属になり、その翌年ニューヨーク・オクラホマ・ヒューストン等を経てダラスに赴任するわけです。そのように1年足らずで次々とアメリカ各地を回られまして、ダラスが一番長かった。そこでダラスのロータリアンの一人になられた訳です。福島さんよりも先にロータリアンになった方は居ないという確認が取れまして、福島さんが日本人として初めてのロータリアンと言われるようになりました。

このダラスというのは、アメリカ南部テキサス州綿花の大集散地でした。世界各国からの一流商社がこのテキサスに集まり、それぞれ綿花の買い付けを行っておりました。三井物産の本社と致しましては、勿論日本の紡績会社の為に日本に買い付けして送るというのが福島さんの大きな任務の一つであった訳ですが、当時の相場の情報を得てどこに売ったら一番利益があるかという事を、彼は色々な所を通じて情報を集め、その売れる所にアメリカ以外にイギリス・イタリア等商売が成り立つと判断された場合は、そこにどんどん売りました。

当時アメリカで綿花の一番の売上実績を残していたの

は福島さんです。この時彼は若干34歳という若さでした。彼は競争相手の同業者でも困っていれば自分の手持ちの綿花を分け与え、皆さんの為に一生懸命気配りをして、みんなの為になるかどうかという4つのテストに謳われておりますように、困っていれば直ちに手を差し伸べて応援したという事です。ですからダラスでは彼の人望が非常に厚く、彼は誠実で責任感が強く、ことに当たって己を忘れて人の為にもよく尽くす人だという事で、ダラスのロータリーのメンバーになる事ができた訳です。そういう方ですから、彼が綿花が必要だと言えば、たちどころに今迄世話になっていた綿花業者が彼の必要な分だけの綿花を彼の手元に集める。ですから彼は買い付けに関してなんら困る事無く、相手方にそれを要求通りに商売が出来たという事です。

大正8年頃第一次大戦が終わりに近づいた時に、どこからともなく講和条約が成立するらしいというニュースが流れて来ました。終戦になると綿花は大暴落します。直ちに自分の手持ちの綿花をいち早く処分しなければなりません。それには先ず運搬する船が必要です。船会社に彼はいち早く手を打ち、全ての船会社についてチャーターしておりました。他の業者が後から来ても全て福島さんが押さえていました。しかし彼は持ち前の他の業者が困っていると、自分のチャーターしていた船の一つを用立てて人の為にも色々気配りをされていたようです。

彼はその後上海支店に転勤になります。その時には居留していた日本人の為に色々な保護政策を任務として行っていたようです。上海事変が起きた時、その前の満州事変以来、日本に対して中国は非常に排日感情が悪化しておりました。その中で日蓮宗の僧侶が殺害されるという事件も発生し、上海は騒然とした危険な状態に置かれていました。1月23日に海軍特別隊が上陸し、中国と交戦します。これに対し日本はヨーロッパやアメリカの諸外国から大変な非難を受けます。上海に居た日本人は危険な状態に置かれ、いち早く日本に帰さなければならぬ。福島さんは流暢な英語を話すので、中国人の英語の分かる方に英語で「非戦闘員はこの戦争には関係ない。むしろ被害者である。だから日本に帰すべきだ」という交渉をして、中国人も納得して無事上海に居た日本人が帰る事ができました。その他、ヨーロッパやアメリカの人達も同様に彼の手配でそれぞれの母国に帰る事ができました。その事は三井物産の

商売には関係ない事で、三井物産の本社としても「人道的には結構な事だけど余計な事をやって自分の仕事を投げ打っているんじゃない」とお叱りを受け、東京に転勤を命ぜられます。そして彼は35年間三井系の会社に勤められたので表彰を受けております。その前に人道的な行動をして三井物産のお叱りを受けたわけですが、逆に日本政府は彼の行動を称え金杯と感謝状を彼にあげ、そこで初めて三

井本社も彼の功績を認めました。

後には経済使節団としてヨーロッパに派遣されました。その仕事が終わった時に奥さんと二人でパリを拠点としてヨーロッパ各地を周っておられ、その途中で彼は具合が悪くなり、それは肺結核でした。伊豆の別荘を買い取り、長期療養に入りますが残念な事に終戦直後の翌年に65歳の若さでこの世を去られました。

ロータリーの豆知識 第17回

ガバナーとガバナー補佐

ガバナーとは

ガバナーはRI理事会の指揮、監督の下に職務を行うその地区におけるRIの役員である。地区内のクラブの管理は、ガバナーの直接監督下に置かれる。ガバナーは地区内のクラブに対する指導および監督を行うことで、ロータリーの目的を推進する任務を課せられている。ガバナーは、地区内のクラブを啓発し、意欲を与え、地区内に継続性を確保するものとする。(RI細則 15.090.)

可能な限り最適の候補者を得るために、ガバナーは、所管地区内のクラブからガバナーにふさわしい候補者を推薦するよう要請するものとする。

ガバナーの任務

ガバナーは、地区およびクラブの指導者と協力し、地区リーダーシップ・プランへの参加を奨励すべきである。さらにガバナーは、効果的なクラブを育成するために、元、現任および次期地区指導者と協力して、地区内に継続性を確保するものとする。ガバナーは、地区内において次の事項の責務を負う。

- 1) 新クラブ結成。
- 2) 既存クラブの強化助成。
- 3) 地区指導者およびクラブ会長と協力し、地区内各クラブのために現実的な会員増強目標を設定して、会員増強を推進すること。
- 4) プログラムへの参加と資金寄付に関してロータリー財団を支援すること。
- 5) クラブ間およびクラブとRIの間の良好な関係を促進すること。
- 6) 地区大会を計画、主宰すること。会長エレクト研修セミナーおよび地区・研修協議会の計画・準備にあたるガバナーエレクトに協力すること。
- 7) ガバナーの出席をできる限り効果的にするよう、年度を通じて個々のクラブあるいは複数クラブ合同の例会への公式訪問を行うこと。
- 8) 地区内の各クラブの会長、幹事に対して月信を発行すること。
- 9) 会長またはRI理事会の要請があれば、速やかにRIに報告を提出すること。
- 10) ガバナーエレクトに対して、国際協議会の前に地区内のクラブの状況について詳細な情報を提供し、併せてクラブ強化策の勧告案を提供すること。
- 11) 地区における指名および選挙が、RI定款、RI細則、および既定のRIの方針に則って確実に実施されるよう計らうこと。
- 12) 地区内で運営されているロータリアンのグループ(ロータリー友情交換、国際共同委員会、世界ネットワーク活動グループなど)の活動について定期的に訪ねること。

- 13) 地区で保存すべき文書をガバナーエレクトに引き継ぐこと。
- 14) 地区におけるRI役員としての職責に属するその他の任務を遂行すること。
- 15) クラブの定款および細則が、組織規定を順守していることを確認する。規定審議会開催後は、特にこれを行う。(RI細則 15.090.)

ガバナー補佐の任務

ガバナー補佐は、ガバナーにより任命され、指定されたクラブの運営に関してガバナーを補佐する責務を担います。全ガバナー補佐は、指定されたクラブに対して、次のような支援を行う責任があります。

- a) 次期クラブ会長と会い、毎年クラブ・リーダーシップ・プランの推進、実施、見直しを行い、クラブの目標について協議し、「効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標」及び章典の第2.010.1項「機能の喪失」を検討するにあたって助力する。
- b) ガバナーの公式訪問に際して開かれる各クラブ協議会に出席する。
- c) 望ましくは1カ月に1度、最低でもロータリー年度の各四半期に1度は、各クラブを定期的に訪問する。また、クラブ会長やクラブ指導者に会い、クラブの業務、クラブが利用できる資料、支援源、及びクラブ資金を実務的に取り扱うことについて話し合う。
- d) クラブ指導者がガバナーの公式訪問の予定を調整し、計画立案にあたって助力する。
- e) クラブの進捗について常にガバナーに知らせるとともに、ロータリーの発展を促し、問題に対応する方法を提案する。
- f) クラブが、ガバナーの要請や推奨事項を確実に実行するよう奨励する。
- g) 適切な地区委員会と協力してクラブレベルの研修の調整を図る。
- h) 地区リーダーシップとクラブ・リーダーシップ・プランを推進する。
- i) 地区委員会の選考に関して次期ガバナーに助言をする。
- j) 地区大会およびその他の地区会合に出席するとともに、これらへの出席を推進する。
- k) 必要であれば、地区活動や行事に参加する。
- l) 招かれた場合、クラブの例会や協議会や行事に参加する。
- m) 地区チーム研修セミナーに参加する。
- n) 会長エレクト研修セミナーおよび地区・研修協議会に出席する。

委員会が任命される前に、ガバナー補佐が地区目標の策定を手伝うことが重要である。その目的は、地区が達成したいことについてコンセンサスを得ること、また地区目標を達成するのに必要な委員会だけを任命することである。

(文責/丹治正博)

私のひとこと

増子 勉 会員



一、二年前、ある方の強いお勧めで、AKB48の選挙戦を、一時間ほど観ました。その時感じた事を、会社の日報にランダムに列挙したことがあります。

一、際立った容姿やパフォーマンスがない、女の子の集団であつても、一人ひとりが違う事を際立たせている。

二、真摯である。

三、集団も個々も、少しずつ、変化してきたと想像できる。

四、集団の中で切磋琢磨しながら、

お互いがフェアプレーをしている印象がある。

五、ファンとの距離が近い。

六、マーケットとしては、ポリウムゾーンである。

七、個々のマーケットの広がりが見えてくる。

八、社会の公器という認識がある。

九、良質で強力なマネジメントが感じられる。

十、一つの学校のように感じられる。

——幾多の評論家が、「AKB48論」みたいなものを書いていっていると想像できます。

お客さま並びに来訪ロータリアン紹介



●国際ロータリー第2530地区

ガバナー

野崎 潔 様 (福島北 RC)

県北第一分区ガバナー補佐

久米 允彦 様 (福島西 RC)

県北第一分区幹事

佐藤 慶行 様 (福島西 RC)

例会変更のお知らせ

- 福島東 RC、14日(金)の例会は職場訪問例会の為、アストモスガスへ変更しております。
- 福島北 RC、18日(火)の例会は15日(土)の競馬場例会へ変更しております。

その他のお知らせ

- 本日例会終了後、14:30より「福島いのちの電話」支援事業として、地区補助金プロジェクトを活用しビデオカメラ、プロジェクター、スクリーンの贈呈式に前年度関係者と一緒に出席してまいります。



- 8日(土)13:00より、福島東稜高校にて三者合同(東稜高校|A、福島学院大学RA、ロータリアン)「新世代会議」を開催致しますのでお知らせ致します。
- 本日後方にチューリップの球根を頂いております。毎年恒例となりました農林中央金庫有田会員より頂戴致しておりますので、お帰りに一箱ずつお持ち帰り下さい。

11月誕生祝い

おめでとうございます

佐藤 順一 会員	昭和 23年11月 1日
志村 光昭 会員	昭和 39年11月 6日
佐藤 英典 会員	昭和 21年11月 7日
菅沼 裕 会員	昭和 38年11月 8日
江花 亮 会員	昭和 10年11月 10日
内池 浩 会員	昭和 18年11月 22日
渡部 世一 会員	昭和 17年11月 23日



ニコニコBOX報告

〈報告〉今井理基夫 委員

本日のニコニコBOX投入額 34件 ¥80,000 累計 ¥1,172,000

○他に／白岩康夫／幡研一／菅野晋／大沼健次／内池 浩／佐藤武彦／江花 亮／菅沼 裕／高橋聡／渡邊広重／古俣 猛／有田吉弘／海野卓哉／相良元章／八子英器／茂田士郎／浦部 博／児玉健夫／増子 勉／安藤健次郎／氏川守義／八巻恵一／坪井大雄／渡邊又夫／菅野晴隆／森岡幸江／小林仁一／松浦敬裕／田沼紀美子

○丹治正博 会長
本日は野崎潔ガバナーの公式訪問例会にあたり、クラブ会員一同を代表して心より歓迎を申し上げます。ガバナーの温厚で誠実なお人柄あふれるスピーチを賜りますことを楽しみに致しております。

○丹治正博 会長

野崎ガバナー公式訪問心より歓迎致します。野崎ガバナー様、久米ガバナー補佐様、佐藤分区幹事様、ご来訪ありがとうございます。

○渡辺健寿 会員

ガバナーの公式訪問に感謝して。健康に留意され恙なく全行程を終了されることを祈念します。

○阿久津 肇 PG

ガバナーの公式訪問に感謝して。健康に留意され恙なく全行程を終了されることを祈念します。

○久米 允彦 ガバナー補佐

本日は親クラブ訪問で、大変勉強になりました。

○野崎 潔 ガバナー

今日は親クラブである福島ロータリークラブの公式訪問で参りました。久米ガバナー補佐、佐藤分区幹事も同行致しました。宜しくお願い申し上げます。